

# 一往直前

## 前期学級委員の皆さん ありがとうございます



1組	<p><b>橋本 魁</b></p> <p>僕が前期学級委員になって分かったことはクラスの様子です。今までクラスのことは気にしていなかったけど、学級委員になって忘れ物が多いことや授業の態度など色々な反省点が見付かりました。そして、クラスのことを考えながら動く色々なことが分かって学びました。</p>	<p><b>鈴木 杏莉</b></p> <p>学級をまとめていくことの大切さ、クラスで団結していくことの大切さを知ることができました。クラスや学年でトラブルを改善していくことがあったとき、自分たちを中心として解決していくことは、とてもよい経験になり、これからも生かしていこうと思いました。学級委員として学んだことを忘れず、後期の委員に伝えていき、よりよいクラス、学年をつくっていきたいです。</p>
2組	<p><b>塚本 琉生</b> ※学年委員長</p> <p>最初責任感がとても重く感じ少し不安だったところもあったが、徐々に慣れていった。クラス、学年のためにいろいろ工夫できた。特に、授業に集中しようGPでは挨拶をするように心掛けた。小学生のころは「責任」というものを背負ったことはなかったが、責任について知ることができ、実感でき、とても貴重な体験ができた。これからもあいさつを気持ちよくしたり、クラス・学年がよくなるようにしたり頑張りたいです。</p>	<p><b>杉浦 優奈</b> ※学年副委員長</p> <p>グランプリなどを通して、少しは授業態度がよくなった気がするけど、まだよくなれると思った。クラスメイトが困っているときや体調が悪いときなど学級委員として特に目を配ってクラスメイトを助けていくことが大切だと思った。</p>
3組	<p><b>澤淵 大翔</b></p> <p>学級をまとめることの大切さがよく分かった。この体験を基にし、残り約6ヶ月周りにへの気配りを大切にしていきたい。誰でもできるようなことではないからとても良い経験ができたので、これからの生活にいかしていきたい。そして余りできなかった積極的な声掛けをこれから力を入れてやっていきたいと思う。</p>	<p><b>宮沢 栞</b></p> <p>学級委員になって、声掛けや呼び掛けがすごく大切だということを学びました。体育館や移動教室の時、いろんな人が声掛けをしてくれているのを聞いてみんな行動していたから、呼び掛けは大切だと思いました。自分で判断するというのが余りできませんでした。だからこれからは学級委員になって学んだことを生かして呼び掛けをしたり、自分で判断して行動したりしたいです。</p>
4組	<p><b>原 胡太郎</b></p> <p>ぼくは学級委員として言われたことはしっかりとやり、少し先を考えて行動することを心掛けていました。中学生になり、慣れない生活をするとき、学級委員をするというのは最初とても緊張することでした。最近は学級委員にも慣れてきて、少し声も出るようになってきたので、学級委員になれてよかったと思います。これからも学級委員として学んだことを生かし生活をしていきたいです。</p>	<p><b>大西 茉愛</b></p> <p>今ふりかえてみると、声掛けが余りできなかったなと思います。ですが、学級委員の声掛けでクラスみんなが動くので声掛けは大事だなと学びました。(あいさつはがんばれたかなと思います！)</p>
5組	<p><b>市川 楓大</b></p> <p>学級のみんなに指示を通す難しさが分かりました。学級委員になったことで自分の心が成長しました。中央委員でもっと質問をすることで学級に分かりやすく伝えられるので、質問してみてください。</p>	<p><b>堀内 星奈</b></p> <p>クラスをまとめることのたいへんさがよく分かりました。様々な話し合いに参加し、自分の意見というと周りが反応してくれて、自分が発言できるという場を作ってくれた他組にも感謝しています。クラスの代表として完璧ではありませんでしたが、やれることはしっかりとやれたので、学級委員をやれて良かったと思います。</p>

## 生活のヒント

今回、前期学級委員の役割を終える 10 人は、各クラス、そして学年のリーダーとして日々がんばってくれました。そして、学級委員として学んだこととして、「全体を見る視点」が身に付いたことや「責任」の重要性、そして、「声掛け」の効果について多くが答えています。役割を終えても、今後もクラスや学年のために、そして自分自身のために今回の経験を生かして行って欲しいと思います。

さて、今回はリーダーに必要な資質について、こんな話を聞いたので紹介したいと思います。

スタンフォード大学のビジネス理論家で『ビジョナリー・カンパニー』（日経 BP）の著者であるジム・コリンズ氏は、アメリカの経済誌『フォーチュン』に掲載された 1435 社から大飛躍を遂げた 11 社を厳選し、他の優良企業との差を徹底的に調査しました。その結果、企業の大飛躍を達成したスーパーリーダーたちに共通していたのは、「謙虚さ」だと解明したのです。その他に必要な資質としては、スキル（仕事に必要な能力）や知識<レベル 1>、チームワーク<レベル 2>やチームを引っ張る力<レベル 3>、ビジョンやカリスマ<レベル 4>。これらの能力は、レベル 1 からレベル 4 とされ、リーダーとしてあたりまえの資質と今まで定義されてきました。

そうした資質に加えて、人の話をよく聞いて理解し、人の失敗を責め立てず、共感しながら、思いやりにあふれた行動が取れる。他人の思いをくみ取る（エンパシー）の効いた「生き抜く力」を持った謙虚なリーダーこそが、アメリカの大企業を牽引してきたさらに上位レベルの資質<レベル 5>なのだということです。

このコリンズの研究は 2001 年に発表され、大きな反響を呼びました。それまでは、ブルドーザーのように突き進んで道を切り拓くカリスマ的な強腕 CEO がもてはやされていたからです。しかし、近年、前述の実業家たちの格言にもあったように、エンパシーや思いやりの力がビジネスの世界でも注目されているのです。

レベル 5 のリーダーシップの例えとして「窓と鏡」の話があります。「成功した時は窓（外）を見て、部下、同僚、関係者などに感謝する。失敗した時は、鏡（自分）を見て、反省、改善する」というものです。さらに、ジム・コリンズ氏は、「第 5 レベルのリーダーシップ」を身につけるためには、「信頼できるメンター（相談相手）を持ち、相談することが一番である」と語っています。ジム・コリンズ氏自身は、“マネジメントの父”と言われた有名なピーター・ドラッカー氏をメンターとして、自分の将来の進路などについて相談しアドバイスを得ていました。このように信頼できるメンターにオープンに打ち明け、相談していくことによって、謙虚に自己を振り返り、職業人としての強さにつながるアドバイスを得ていたということです。

私自身もこの話を聞いて、レベル 5 のリーダーシップを目指していきたいなと思いました。

前期学級委員の皆さんだけでなく 11 月から活動を開始する後期学級委員の皆さんや学級の委員会や係、班等でリーダーを務めた人、今後務める人は、ぜひ参考にしていって欲しいと思います。

## 連絡事項

### ・体育大会の練習について

10/19 の週から体育大会の練習が始まります。1 年生に係る予定をお知らせします。

日時	場所	活動内容	備考
10/20 (火) 放課後	加茂 G	種目練習 (2 年と)	B 清掃× 部活○ 完下 17:00
10/22 (木) 放課後	校内	種目練習 (1 年単独)	B 清掃× 部活○ 完下 17:00
10/23 (金) 放課後	加茂 G	種目練習 (2 年と)	B 清掃× 部活○ 完下 17:00
10/26 (月) ⑤～	かぶと塚 ※自転車移動	全体確認・総練習 (1 年単独)	B 清掃× 部活× 現地解散 (16:00) 完下 16:45
10/27 (火) 放課後	加茂 G	種目練習 (3 年と)	B 清掃× 部活△ 完下 17:00
10/29 (木) ⑤～	加茂 G	種目練習 (3 年と)	B 清掃× 部活× 完下 15:05

### ・衣替えと、制服下校について

先日生徒指導からの配付物にあるように 10 月いっぱい衣替え期間です。まだまだ暑かったり、急に冷え込んだりという気候ですので、各自調整をしてほしいと思います。また、熱中症対策で行っていた部活のない日の下校時の校内服での下校は、本来の決まりである制服に着替えての下校に 10/12 (月) からなっていますので、気を付けてください。